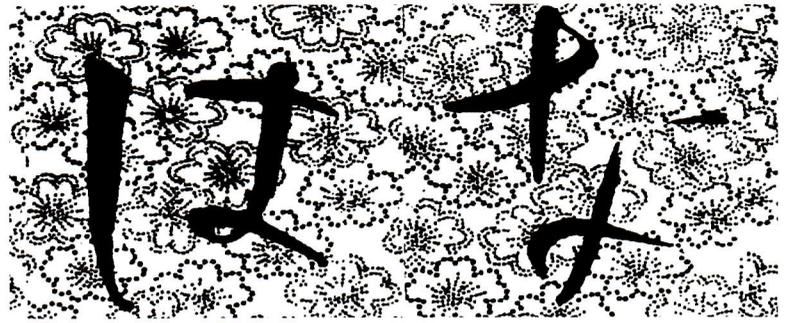


## 大和華道協会

発行 令和2年10月1日  
 創刊日 昭和54年10月1日  
 事務局 大和市長上和田124-12  
 046 (267) 4153



### 「コロナ禍の中で」

会長 大垣 鳳 菜

日本各地に記録的な豪雨による洪水被害を出し、長い梅雨が明けるといきなり灼熱の猛暑の日々。今年是我慢の夏です。私達はコロナ感染予防と熱中症にも対処しなければならず厳しい状況下にあります。

穏やかに明けた令和2年、中国武漢で発生したコロナウィルスのニュースはまだ対岸の火事の感がありました。が、日を追ってヨーロッパへアジアへと拡散し、僅か数ヶ月で全世界に拡がり大惨事となり、各国は対応におわれました。テレビはパリやニューヨークの人が消え閑散とした街の様子を報じました。ロックダウンです。日本では緩い緊急事態宣言自粛要請です。人の動きを止め拡大を封じ込める対策ですが経済には大きなダメージを与える副作用もあります。第1波の封じ込めに成功した国でも経済を動かすと再び増加に転じ第2波の流行となっています。未知のウイルスとの戦いは長引きそうです。

当協会の関係する事業は市の施設使用禁止(3月~6月)に伴い、グリーンアップセンター展示花、さくら文芸祭添花と表彰式の花が中止。定例役員会と総会は延期。その他神奈川県華道展と武相華道展は中止。各華道協会(23団体)から花展中止のお知らせが届いています。様々な活動が停止される中で7月1日に再開しました大和市役所とベテルギウスの花席の挿花は現在唯一の活動の場であり、市民の皆様の癒しとなること、ひいては協会の認知に繋がることを願っています。そして、猛暑の中ご尽力下さっておられる先生方に感謝申し上げます。

喫緊の問題は「いけばな諸流展」(11/28~29)を開催すべきか否かです。7月21日総会で一人おひとりのご意見を伺いましたところ、拮抗いたしました。集約すると、「with コロナの時代こそ展示や見学に工夫して開催することに意義がある」

一方「開催したいけれども感染が収まらない中、リスクは避け今年中止の方が良い」とのご意見でした。

先般、第2波真只中、ピークは7月末と思われるが高止まり状態が続いている為警戒しなければならないとの見解が発表されました。感染は高齢者が増加し、重症者も増加傾向にある為医療も逼迫しつつあります。中でも回復後の後遺症が問題です。症状の重軽にかかわらず様々な後遺症が長く続いている報告です。又、この秋冬にはインフルエンザの同時流行も懸念されていることを考慮すると天秤は中止に傾きます。「健康に勝るものは無し」市の動向も伺い近々結論を出し代表者の先生方にお知らせいたします。

ともかく感染しないことがベストです。自粛にも筋力や認知機能低下のリスクがあります。手洗い、消毒、マスク、三密をさげ、会食はせず、換気をしてワクチンや治療薬が出来るまで凌ぎ、行事再開の折には元気で目にかかりましょう。

(8月20日記)



12月7日~8日第68回 いけばな諸流展



11月2日~23日 第18回大和市民芸術祭

## 特別寄稿

## 華道の力

大和市長 大木 哲



会報「はな」第38号のご発行、誠におめでとうございます。

貴協会は創立以降、日本の代表的な伝統文化の一つである華道の魅力を発信し、次代へ継承する活動を続けられております。本市の

文化芸術振興への多大なご尽力に対しまして、深く敬意を表します。

また、日頃より市役所本庁舎をはじめとする市内の公共施設への挿花の展示や、市が主催する文化行事にも格別なるご協力をいただいております。大垣会長をはじめ、会員の皆さま方のお力添えに厚く御礼を申し上げます。

華道は日本の風景を彩る木々や草花を生かし、日本の自然や文化を愛でることができる芸術として、多くの人に感動と安らぎを与え、私たちの生活に彩りと輝きをもたらします。

現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスは私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、先行きの見えない不安や慣れない生活に疲労を感じる方々が

大勢いらっしゃるかと存じます。そのような時こそ、華道の持つ、人々を魅了する力が必要なのではないでしょうか。市役所入り口に飾られているいけばなを見るとフロア全体が明るく感じられ、来庁者の心を和ませ、元気にしてくれている様子がかげえまします。どうかこれからも、豊かな感性と創造性を存分に発揮していただき、市民の皆さまを元気づけていただきますようお願い申し上げます。

さて、本市では、早くから文化芸術の持つ力に着目し、「文化の薫るまち 健康都市やまと」を目指すべき姿とする第3期目の文化芸術振興基本計画を策定しました。この計画に基づき、心豊かで潤いのある市民生活、活力ある地域社会を実現するため、様々な文化芸術事業に取り組んでおります。貴協会におかれましても、華道の魅力の発信、継承を通じ、本市が「文化の薫るまち」としてさらに発展するため、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆さま方のますますのご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、私の挨拶といたします。

## きづかい

会計 鏡 静絹

長雨の続く梅雨、黄色のカンナの花をみつけた。ビルが建つ前の広い庭にカンナの花が、沢山咲いていた遠い昔の景色も思い出させてくれます。

登山を楽しんでいた頃は、足元に咲くスミレの花に励まされ、昨今は新型コロナウイルス感染防止のため、自宅の庭に咲く花たちに癒されている私です。

とても心動かされたことがありました。訪問するお宅の玄関横にはいつも花がいけてある。心づかいがとても嬉しい。

華展会場で美しい立ち振る舞いを目にする事がありました。車イスの方が花席の前に止まり、イスか

ら立ち上がり、ゆっくり一礼をされご一緒の方と拝見される。一礼をし、イスに着かれた。作品に敬意を表しながら楽しまれる姿は、花道を学ぶ者として嬉しい拝見のお作法でした。

稽古を始めた頃の花は単なる素材ではなく命をもった繊細な生きもので、丁寧に大事に扱うこと。器に水を張る時、注ぎ口に折りたたんだふきんを添える・運ぶ時は必ず両手を添える等普段から心得ておきたい作法を思い出す。花をいける事だけでなく拝見の作法も美しくありたいと思います。

## 花とともに

企画 飯笹 松峰

私が大和華道協会に入るきっかけは12~3年前大和市グリーンアップセンターでの華道協会主催の華展を拝見して、先生方の作品の生きいきした表現と、お花の豊かさ、美しさに魅せられたことでした。直ぐ入会させて頂きましたが、レベルの高さ、熱心さに圧倒されてしまい、迷いましたけれど「私はここから学ぶべきことが沢山あるんだ」と思うと、とても熱い気持ちになった事を思い出します。

生け花は絵画などと違いどんなに最高の作品でも残す事が出来ません。

故に、少しでも心に残る作品をと思い取り組むのですが、なかなか思うような作品が生み出せず悩んでおりました。

新型コロナ禍の影響で自粛が続き、近隣を散策する機会が増し、庭先や公園には四季折々のお花や木々が沢山あって、とても癒されます。

お花を生ける事は勿論、技術はとても大事な事です。切り花を活けるのですから、感謝の気持ちを持ちながらお花本来の持ち味を生かして大事に活けていかなければと思っております。

新型コロナ禍の終息の見えない昨今、普通では感じえない色々な事があり、すこしでも皆様の癒しになる事では、華道協会で行っている大和市役所、ペテルギウスの生け花はとても和やかな気持ちになると思っております。

# 声



市民芸術祭展示花 11月21日～23日 ギャラリー

3年前、初めていけばな諸流展に出瓶させて頂いた時には慣れない環境に緊張してしまいました。これまで見たことがない沢山の作品や花材・花器が新鮮で感動しました。また会場に自分の作品があることが不思議でとても嬉しくなりました。自分一人では生まれない空間に華道の楽しさや面白さを知ることができました。高校生から始めた華道も今年で6年目になりますがこれからもワクワクする豊かな時間を大切にしたいと思います。

小原流 蓬田 りお(大垣社中)

大和市民芸術祭がシリウスギャラリーに於いて開催されました。大和華道協会は、芸術祭の迎え花と7作品の展示花を出展しました。先生方の力が並び、「秋」をテーマに楽しく参加させて戴きました。

コロナ禍の今、日々感染者数の速報に不安を覚え、外出を避け窮屈な生活を続けています。その中で、いけばなを創作する私達は、市民の皆様と共に「やまとアート100プロジェクト」に参加できることを嬉しく思っています。

小原流 栞原 孝咲

私にとって「いけばな諸流展」は毎年の楽しみの一つです。

自分の作品を生ける時は緊張するのですが、それ以上に皆様の素敵な作品を目にすることができる貴重な機会だと感じています。皆様の趣向を凝らした作品にはいつも様々な驚きや発見があり、観ている内に自然とわくわくした気持ちになります。

私も観に来ていただいた方が笑顔になるような素敵な作品が生けられるよう、今後もお稽古に励んでいきたいと思っています。

日本古流 田邊 一緋(保田社中)



市民芸術祭 クリスマスリース作り 11月21日

会場の一角で、リース作りの材料をあらかじめ一人分ずつ小分けにして準備をしました。次から次にお子さん達や大人の方も参加して頂き「赤と緑が入った方がクリスマスらしいわね」と、火傷に気を付けながらグルーガンで接着して、それぞれに素敵に出来上がり、お持ち帰りになられました。ワイワイガヤガヤと楽しいリース作りでした。コロナ禍の今、あの「密」が懐かしく思われます。

東山古流 竹崎 蘇登



いけばな諸流展 12月7～8日 ギャラリー

学生の頃は、人と話すのが苦手でした。華道教室では、教室以外の催しに参加することも増え、今まで接点のない方たちとも話す機会が増えました。華道のことだけでなく、何気ない日常の話から、思わぬ体験談を聞くこともありました。人見知りであった自分が、人と話をすることで知らない世界を知り、それを面白いと思うようになりました。知らない世界との交流に参加できる環境に出会えたことは、恵まれていると思いました。

日本古流 渡部 一美(市川社中)



新春のつどい 北京飯店 2月8日

## インフォメーション

### 令和2年度主な活動

- R2. 4. 15～20 第71回神奈川県華道展《中止》  
(鎌倉芸術館)
7. 21 総会・代表者と教授者のつどい  
(シリウス6階・生涯学習センター)
9. 11～14 第52回武相華道展《中止》  
(町田パリオ)
10. 15～11.3 一般公募展添花〈大和市文化祭〉  
(シリウス1階・ギャラリー)
11. 21～23 大和市民芸術祭《中止》  
(シリウス1階・ギャラリー)
11. 28～29 第69回いけばな諸流展《中止》  
(シリウス1階・ギャラリー)
- R3. 2. 新春のつどい
3. 5～11 グリーンアップセンター展示花

### 第69回 いけばな諸流展

- 会 期 令和2年11月28日(土)～29日(日)  
10時～17時
- 会 場 大和市文化創造拠点シリウス・ギャラリー  
新型コロナウイルス感染防止の為中止

### グリーンアップセンター展示花

- 会 期 令和3年3月5日(金)～3月11日(木)
- 1次 3月5日(金)～3月7日(日)
- 2次 3月9日(火)～3月11日(木)

### ボランティア活動

大和市役所、市民活動拠点ベテルギウスの花席に交代でお花を活けております。

是非お一人でも多くのご出瓶をお待ち申し上げます。ご希望の方は担当までご連絡下さい。

〈連絡先〉野口 一系 Tel 046-267-8078  
栞原 孝咲 Tel 046-261-2238

### 新入会員募集

いけばなを教えている方にお勧め下さい

問い合わせ先 会長 大垣 鳳菜 ☎046(267)4153 〈随時受付〉

印刷/S I印刷 TEL 046-269-5400・FAX 046-269-1697

### 心に残る 私の一作



萩窪 虹礼 (草月流)

昨年、県展を控えていた6月に主人が亡くなり、頭の中は真っ白で何も考えられませんでした。お骨になった主人の前に飾ってあったカサブランカや白い花々。主人を偲びカサブランカを活ければ、主人に許してもらえるだろうと、欠瓶をせず期日には活け込むことが出来ました。

第70回の高島屋での県展は、主人の思い出とともに私の生涯、心に残る一作になりました。

### 表彰

大垣 鳳菜 (大和市華道協会会長)  
大和市文化芸術顕彰「文化芸術振興賞」を受賞。



令和元年10月26日

### 編集後記

「はな」発行に際し、お忙しい中ご寄稿くださりまして、心より感謝申し上げます。感染症の収束が見通せない中、華道協会の活動も様々な制約を受けております。70周年記念を迎える来年に向けて、今後もより良い紙面づくりに努めて参りますので、よろしく願い申し上げます。

広報 野口・栞原